

令和3年5月14日

関係各位

第32回全国高等専門学校プログラミングコンテスト
実行委員会 委員長 秋田工業高等専門学校長
植松 康

第32回全国高等専門学校プログラミングコンテスト開催方法の変更について

新型コロナウイルスによってお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、医療・介護関係をはじめ、感染症対策の最前線でご尽力されているすべての方々に敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、秋田総合生活文化会館・美術館アトリオンを会場に開催を予定しておりました第32回全国高等専門学校プログラミングコンテストにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、開催の可否を含め実行委員会として協議を重ねて参りましたが、結果として今回の大会は感染予防の観点から、秋田市での参集大会とはせず、オンラインで遠隔開催とさせていただくことを5月12日に開催された全国高等専門学校連合会代表理事及び高専プロコン担当理事による打ち合わせにより決定いたしました。

秋田県での開催を楽しみにしていた学生諸君、日頃より指導にあっていただいている先生方、様々のご支援・ご協力をいただいている後援団体、協賛団体の皆さまには誠に申し訳ございませんが、感染拡大防止、学生生活・学業への影響を考慮し、このような方式へ変更させていただきます。

今年度は課題部門・自由部門・競技部門の3部門をオンラインで開催いたします。学生の皆さんにとっては、これまで積み重ねてきたものが発揮できない状況かもしれません。しかしながら、このような時だからこそ高専生の持つ創造性、実践性を発揮していただき、過去の大会に勝るとも劣らない大会となるよう全力を尽くしていただければと考えております。

後援団体、協賛団体の皆さまにおかれましては、学生たちの作品への情熱、アイデアを直接感じることは難しいかもしれませんが、これまで同様にご支援をいただければ幸いです。

我々実行委員会もコンテストの成功に向けて最大限、努力して参りたいと思います。

最後になりますが、あらためまして、今回下した決定に対し、何卒ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。